

主要メーカー各社の戦略

市場開拓を加速化

生産増強や開発などに力

旺盛な海外需要を取り込む

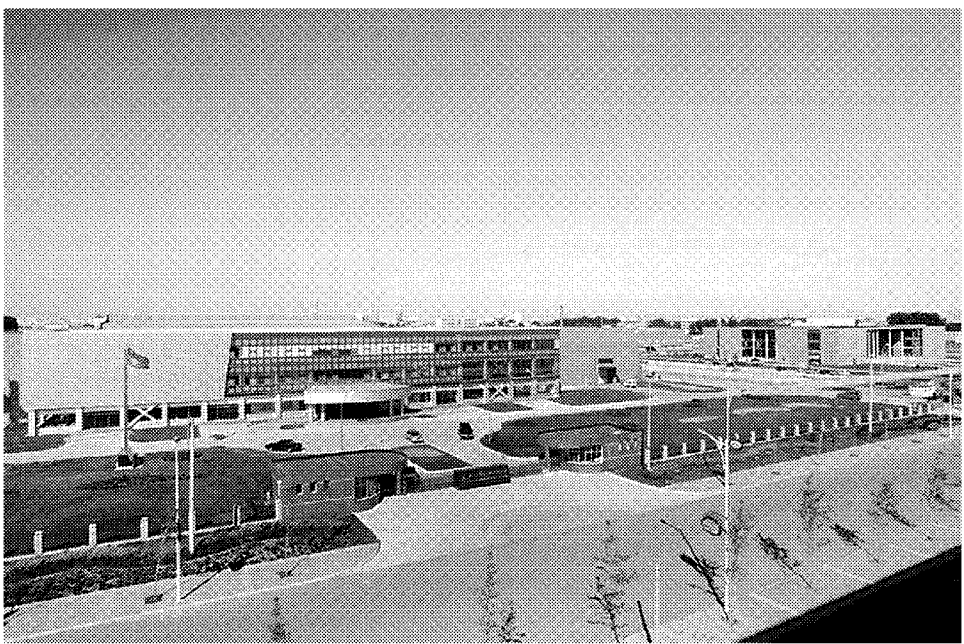
中部地域の工作機械メーカーは、堅調な自動車産業などからの受注に支えられ、生産増強や新技術・新製品開発に力を注いでいる。営業戦略でも活発な動きがみられる。2012年は9月10・15日に米国で「国際製造技術展」(IMTS、シカゴ)、11月1・6日には東京で「日本国際工作機械見本市」(JIMTOF)が開かれ、それにに向けた準備を進む。中部の主要メーカー各社の取り組みを紹介する。

オークマ 効率化へ投資

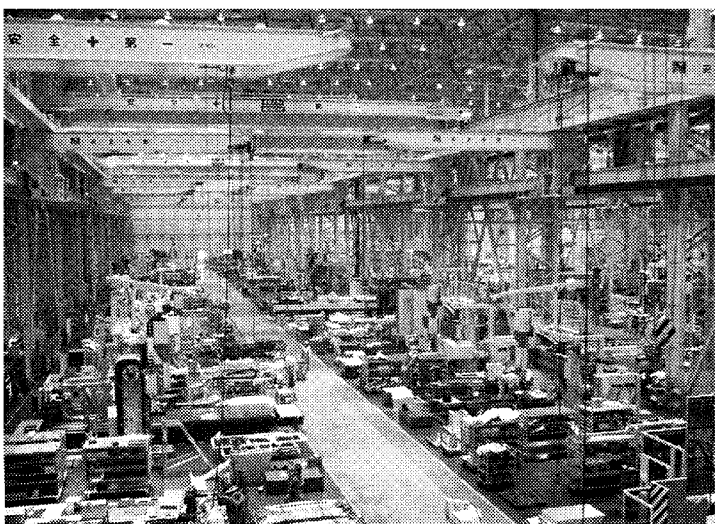
台湾、中国で生産拡大

オークマの花巻義隆社長は、13年3月期の事業展開について「為替はリスキーだが、オシロウン技術とハイテク機をラビールして、価格と利益率を維持する」と意欲を示す。

同社の12年3月連結決算は、円高環境下でも前期比で売上高が4割増、営業利益が5倍という成績を収めた。原動力は国内工場における生産効率の約30%改善と、全体の12%に及ぶ海外部品調達と、同



オークマの中国・北京工場



オークマの可児工場(岐阜県)



ヤマザキマザック米国工場の拡張工事が進む

1・4倍の25億円の研究開発費だ。同社では大型投資の復活といえる。このうち設備投資は国内での生産効率化はもちろ

ん、台湾、中国での生産拡大に向ける。台湾工場は日本で完成させる機械(CIMES)に600

米の需要に匹敵するほか、為替メリットを生かす日本や南米などへの輸出、自由貿易協定(FTA)で関税がゼロとなる韓国への輸出に対応する。工場では生産スペースのほか、全米の営業・サービス拠点を統括する「ナショナルテクノロジーセンター」、部品を収納する「ナショナルパーツセンタ」を含めて延べ床面積を約34%増の7万4320平方メートルに。投資額は公表していない。(次ページへ続く)

ヤマザキマザック 米国で増産へ 為替メリットを生かす

平方メートルの大スペースを確保した。出品機の一つ、門型マシニングセンタ(MC)「MORIBIII」は、中国で活況を呈する自動車用プレス金型市場が狙いだ。ヤマザキマザックは、航空機やエネルギー関連などが好調な米国で生産を増強する。米国工場(ケンタッキー州)を拡張し、13年秋にも工作機械の月産能力を現状比50%増の200台にする。北

Your Partner for Innovation

Mazak

INTEGREX e-V II, e-RAMTEC V シリーズ

立形複合加工機

INTEGREX e-1060V/6II
最大ワーク寸法: φ1050×1000 mm

INTEGREX e-1060V/8II
最大ワーク寸法: φ1250×1250 mm

INTEGREX e-1060V/8SII
最大ワーク寸法: φ1500×1450 mm
シングルパレット仕様

さまざまな大物ワークの生産性を 工程集約で向上させる。

INTEGREX e-1550V/10II
最大ワーク寸法: φ2000×1440 mm

INTEGREX e-1850V/12II
最大ワーク寸法: φ2350×1800 mm

INTEGREX e-1850V/25SII
最大ワーク寸法: φ3500×1800 mm

INTEGREX e-RAMTEC V/8
最大ワーク寸法: φ1250×1250 mm

INTEGREX e-RAMTEC V/10
最大ワーク寸法: φ2000×1440 mm

INTEGREX e-RAMTEC V/12
最大ワーク寸法: φ2350×1800 mm

ヤマザキマザック株式会社 愛知県丹羽郡大口町竹田 1-131 0587-95-1131 (代表) www.mazak.com

Value & Technology
技に夢を求め、強固な技術をあなたのもとへ

世界の道を走るジェイテクト

JTEKT

Koyo

TOYODA

ステアリングシステム

ベアリング

駆動部品

工作機械

株式会社 ジェイテクト
www.jtekt.co.jp